

様式第五十の二（第48条第6項関係）

認定事業適応計画の実施状況の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年8月5日

2. 認定事業適応事業者の名称

雪印メグミルク株式会社

3. 認定事業適応計画の実施期間

開始時期：令和4年10月

終了時期：令和7年3月

4. 認定事業適応計画の実施状況

（1）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、地球温暖化防止や気候変動などの社会課題に対応するため、環境負荷の低減を重要課題とし、CO₂排出量を 2030 年度 50%（2013 年度比）削減することを目標としている。

この計画のうち、令和6（2024）年度においては、ナチュラルチーズ製造により発生する副産物のホエイ（乳清）をメタン発酵処理し、発生したメタンガスをLNGガスボイラのエネルギーとして利用する設備の安定稼働を目指した。

（2）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

メタン発酵処理設備が安定稼働に至らなかったことに加えて、当初計画に含まれていないナチュラルチーズ生産設備の能力増強により、電力使用量が増加した結果、CO₂排出量は当初計画（2024年度）比で136.6%となったものの、ボイラのエネルギーを重油からLNGに変更したことでの基準年度（2020年度）比では16%削減された。

また、原料価格高騰などの影響で営業利益が当初計画比52.8%となったため、炭素生産性は当初計画を28.9%下回る実績となったものの、基準年度比では5.6%上回った。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

令和6（2024）年度の経常収支比率は 108.9%であった。

（4）実施した事業適応計画の内容及び適用を受けた支援措置の内容

自己資金およびグリーンボンドでの資金調達（3,410百万円）により、2022年度に蒸気ボイラ・LNGサテライト設備、2023年度にメタン発酵処理設備・好気処理排水設備を取得し、現在稼働している。また、取得した資産に対し、カーボンニュートラルに向けた投資促進税制の適用を受けている。